

令和7年度

八代市

ケアプランデータ連携システム利用
促進モデル地域づくり事業調査業務
実施報告書



株式会社善光総合研究所

令和8年2月

1 業務の目的と概要

(1) 業務の目的

本業務は、本市が選定するモデル地域内の介護事業所において、（公社）国民健康保険中央会が運営するケアプランデータ連携システム（以下「連携システム」という。）の運用状況の実態調査を実施することにより、モデル地域内の介護事業所における業務効率化、生産性向上の取組を推進するとともに、その調査を得られた成果を好事例として他の介護事業所に横展開し、市内全体での連携システムの利用促進を図るものである。

(2) 業務の概要

件名 ケアプランデータ連携システム利用促進モデル地域づくり事業調査業務委託
履行期間 令和7年11月1日から令和8年2月16日まで
事業対象 市内介護事業所（モデル地域①代陽・八代地域、②高田・金剛地域）

(3) 実施体制

本業務は、株式会社善光総合研究所が受託し、再委託先であるNPO法人タダカヨと連携して実施した。

業務分担

| | |
|------|---|
| 善光総研 | 全体プロジェクトマネジメント、調査設計及び報告書作成等 |
| タダカヨ | 説明会・研修会等の企画・運営、サポートサイト・サポートデスクの設置・運営、システム導入の伴走支援及び各種チラシの作成等 |

2 業務の実施内容及び実績

(1) 連携システム導入支援

連携システム未導入事業所を対象に、システム導入から活用定着までを支援するため、サポートデスクを活用しながら個別の伴走支援を実施した。

| 項目 | 実施内容 |
|-------|--|
| 支援内容 | IT環境確認、電子証明書のインストール、連携システム及び介護ソフトの設定確認、個別操作レクチャー、業務運用フローの見直し支援、定着サポートなどを行った。 |
| 支援担当者 | ICTの専門知識と介護に関する専門知識を兼ね備えた専任担当者が対応した。 |
| 支援方法 | 事業所の状況とニーズに合わせ、現地訪問、電話、メール、必要に応じて遠隔サポートも活用し、きめ細やかなサポート体制を構築した。 |
| 実績 | 40事業所（別紙事業所一覧のとおり） |
| サポート | 電話、メール等による専門の問い合わせ窓口を設置。対応日時は、 |

| | |
|---------|---|
| デスク | 平日 9時から16時まで（土曜・日曜・祝日及び年末年始を除く）とし、事業所の業務時間に対応した柔軟な運用を行った。 |
| サポートサイト | 連携システムの概要、導入マニュアル、よくある質問（FAQ）、研修動画等の必要な情報を集約した専用サイトを立ち上げ、24時間アクセス可能な環境を提供した。 https://sites.google.com/tadakayo.jp/cpds-yatsushiro/top |

(2) 調査の実施

実態アンケート調査

八代市が選定するモデル地域内の介護事業所約 100 事業所を対象に、アンケート調査を実施し、システムの導入状況や使用状況、未導入の理由などに関する調査。調査結果は別添調査報告のとおり。

ヒアリング調査

八代市にて選定した 10 事業所に対し、ヒアリング及び効果測定アンケートを個別に実施した。導入前後での業務時間比較やヒアリング結果は別添好事例集のとおり。

(3) 説明会・研修会の開催

本事業への参画を後押しするため、以下の日程で研修会等を実施した。

| 項目 | 実施日 | 実施形式・内容 |
|-----------|---------------------|---|
| 事業説明会 | 令和 7 年 12月15日(月) | 1 回開催。事業の全体像、スケジュール、導入効果を紹介し、事業への参加を広く呼びかけた。 |
| ICT 研修会 | 令和 8 年 1月19日(月) | ケアプランデータ連携システムを支える PC 基本操作マスターと題し、ファイル管理や ZIP ファイルの解凍など、基本的な PC 操作からよくあるつまづきを解消するセミナーを開催した。 |
| 介護ソフト別説明会 | 令和 8 年 1月22日(木) | 主要な介護ソフトベンダーと連携し、特定ソフトのユーザーを対象としたオンライン形式の活用セミナーを開催した。（ほのぼの、ワイズマン） |
| 資料提供 | 随時 | 開催資料及び研修会のアーカイブ動画を専用サポートサイトに掲載し、参加できなかった事業所へのフォローアップを行った。 |

(4) 定例会の実施

本業務の円滑な遂行のため、八代市および再委託先との定例会議を継続的に実施し、進捗管理および課題の共有を行った。

| 実施日 | 内容 |
|------------|--|
| 令和7年11月7日 | 全体スケジュールの確認と合意。 ポータルサイトの内容確認。 アンケート調査票の案の提示。 伴走支援の申し込み方法の確認。 |
| 令和7年11月13日 | 事業所リストの提供依頼。 アンケート調査票の配布方法についての確認。 12月開催予定の「事業説明会」の構成および集客方法についての協議。 |
| 令和7年11月20日 | アンケートの項目についての再協議。 |
| 令和7年12月9日 | アンケート回収状況の共有と回答傾向の分析。 ICT研修会および介護ソフト別説明会の提案。 |
| 令和7年12月24日 | 1月開催のICT研修会および介護ソフト別説明会での内容確認。 ヒアリング先事業所の選定について。 導入前後比較の実施方法の確認。 |
| 令和8年1月19日 | 成果物についての確認。 伴走支援申し込み上限についての合意。 |

3 総括

(1) 業務の成果

本業務を通じ、八代市におけるシステム導入率は約38%に達し、国の普及目標である30%を更新した。既に導入していた約60事業所に加え、本事業の働きかけにより新たに約40事業所の導入を実現したことで、市内の導入総数は100事業所超まで拡大した。

(2) 普及に向けた課題

本事業の実施を通じ、本事業を通じて多くの現場職員が導入に前向きな姿勢を示した一方で、法人内での検討や調整に時間を要し「保留」となっているケースも見受けられた。

連携システムのインストールを完了した事業所においては、日常的な「予定・実績」のやり取りの連携先をいかに増やしていくかが課題となる。

(3) 今後の展望

連携システムは、送信側と受信側の双方が導入して初めてその真価を発揮するため、既に導入した事業所が、日頃からお付き合いのある事業所へ「一緒にデータ連携に切り替えませんか」と積極的に声を掛け合う、草の根の働きかけが普及の決定打となる。

連携が「特別なこと」から「当たり前の前提条件」へと変わっていくように、令和8年度以降の「介護情報基盤」構築を見据えた、地域全体のデジタル・スタンダード化を期待する。

以上